



読書の秋を楽しみました！

読書週間中の11月8日・9日にシーオーレ新宮で図書館まつりを開催しました。

絵本作家 長谷川義史さんの絵本ライブでは、子どもたちが思い思いに「明太子！豚骨ラーメン！イチゴ！」などと声をかけ、即興で「福岡うまいもんの歌」を作り、みんなで手遊びを交えて歌いました。布の絵本作品展では、布のおもちゃで遊ぶコーナーや大型布芝居『人丸姫』『じごくのそうべえ』などの展示もあり、参加者は作品を製作したファンタジアの細やかな手仕事に感心しきりの様子でした。

その他にも、町立中学校の美術部がデザインしたブックカバーの配布や、どんぐりと数珠玉で首飾りづくり、小学生プログラミング教室、ぬいぐるみおとまり会など盛りだくさんの内容で、参加者からは「ワイヤズラリーが楽しかった。歴史資料館にもまた行きたい」などの声が聞かれました。子どもから大人まで、読書の楽しさに触れた2日間でした。



▲ウクレレ演奏やライブペイントで盛り上りがありました



▲「どんぐりころころ」—柳より子さんと手話で歌ったよ

幻想世界へ誘う 竹灯籠の灯り



▲城東高等学校の生徒が撮影しました

11月22日、立花口公民館周辺・六所神社で町まちづくり活動支援団体「Tachibana All Powers (TAP)」主催「たちばな竹灯籠まつり」が開催されました。TAPは立花口地区の竹林整備や地域振興などを目的に活動しています。

当日は満点の星空の下、約5,000本の竹灯籠が立花口を温かい光で包み込みました。六所神社では、TAPと福岡工業大学附属城東高等学校映像クリエイター部が制作した竹灯籠も展示され、訪れた人たちを魅了しました。



また、立花口公民館では地元のみかんや米の販売、カレーや相島で獲れたブリ汁などの出店が立ち並び、竹灯籠の美しさと地域の味わいを堪能しました。竹の灯りに包まれた幻想的な夜は、地域の絆と創意工夫を感じさせる、心温まる時間となりました。

いい日々・いい人生を地域の中で育む

10月2日、加野病院で町主催「オレンジカフェ(認知症カフェ)」を開催しました。当日は管理栄養士の栄養講話、保健師による当事者インタビュー、貝殻クラフトを行い、参加者同士交流を深めました。

認知症になっても住み慣れたところで安心して生活できる町をめざして、認知症についての理解を深めるために今後も普及啓発活動に取り組んでいきます。次回は3月ごろに開催予定です。ぜひご参加ください。



▲和気あいあいと交流を深めました

手と心でつながる 手話奉仕員誕生

10月16日、シーオーレ新宮で新宮町・古賀市合同主催「手話奉仕員養成講座」の閉講式が行われました。

この講座は、聴覚に障がいのある人の生活や福祉制度への理解を深め、日常会話を手話で行う手話奉仕員を養成するものです。令和6年9月～令和7年10月の間に、全46回の「入門編」と「基礎編」の養成講座が行われました。

閉講式では受講生15人に修了証が手渡され、充実した講座内容にみなさんとても満足していました。



▲「アイラブユー」を手話で表現して記念撮影

60年の思いを胸に

9月28日、新宮高校体育館で新宮町合併70周年記念事業「新宮新誠会創立60周年記念少年剣道大会」が開催されました。104チームの選手が集い、熱戦が繰り広げられました。子どもたちの真剣な戦いに、改めて剣道のすばらしさを感じる一日となりました。

新宮新誠会の指導者や保護者は「創立60周年という節目を迎え、これまで支えてくださった多くのみなさんへの感謝の思いを胸に、今後も剣道を通じて青少年の健全育成と地域の発展に寄与していきたい」と語りました。

【新宮新誠会の大会結果(団体戦)】

〈中学生男子の部〉第3位、〈小学生高学年の部〉第3位



▲伝統をつないで60年。これからも誇り高く歩んでいきます



地域の安全を支える活動へ表彰

11月4日、福岡国際会議場（福岡市）で「第41回福岡県交通安全県民大会」が開催されました。町交通安全指導員の清水博之さんが福岡県交通安全功労者として表彰され、また町交通安全協会が令和7年度シルバーセーフティーコンクール広報啓発活動部門で「特別賞」を受賞しました。日ごろの継続的な交通安全活動と、地域に寄り添った啓発が高く評価されたものです。これまでの長年にわたる地道な取り組みと地域への貢献に敬意を表するとともに、今後のさらなるご活躍を期待しています。



▲日ごろの交通安全活動に感謝

日々の努力が実を結ぶ！少年柔道大会



▲賞状とメダルを手にして笑顔の選手たち

11月9日、篠栗町武道館で「第58回糟屋郡少年柔道大会」が開催され、町スポーツ協会所属の新宮少年柔道クラブの選手が優秀な成績を収めました。

階級ごとに熱戦が繰り広げられるなか、選手たちは日ごろの練習の成果を発揮して悔いのない試合をすることができました。

【個人戦】 〈2年生女子〉準優勝：前田星音、3位：渋田つむぎ 〈3年生女子〉準優勝：原田和佳 〈4年生女子〉準優勝：渋谷文那 〈5年生男子〉準優勝：久保田貴壱 〈6年生女子〉3位：藤田紗那 〈中学1年生女子〉優勝：高倉あや花 〈中学2年生女子〉準優勝：原田慧衣、3位：金森藍子

eスポーツ体験で笑顔が広がる 年代を超えた交流の場

11月16日、ふれあい交流館で新宮町合併70周年記念事業「eスポーツ体験交流会」を開催しました。「eスポーツ」は誰でも気軽に楽しめる、多世代で楽しみながらコミュニケーションがとれるなどの魅力があります。

当日は、小学生から高齢者まで約60人がゲーミングソフトを使って、太鼓ゲームやドライビングゲームなどの対戦を楽しみました。ゲーム中は「頑張れ」の声掛けや勝利のハイタッチなど、世代を超えた交流につながりました。

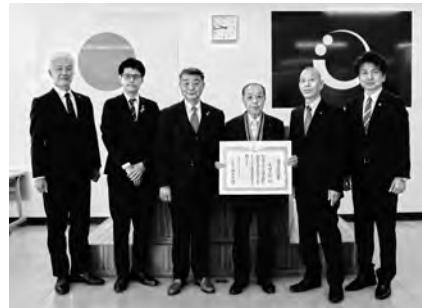


▲老若男女関係なく和気あいあいと楽しみました

長崎武利氏に新宮町名誉町民証書および名誉町民章授与

新宮町議会議員として5期20年間、新宮町長として3期12年間、併せて32年間の長期にわたり町政を担っていただいた長崎武利氏の功績は、名誉町民にふさわしいものであることから、9月議会において名誉町民の選定に関する議案を提出し、その同意をいただきました。

11月7日に授与式を開催し、名誉町民の称号を証する証書および名誉町民章を授与しました。長崎氏は「長年にわたって支えてくださった町民のみなさま、議員のみなさま、そして職員のみなさまのおかげで、長年の職務を全うすることができました。新宮町への恩返しと思い、これからも町の発展のため、尽力してまいります」と語りました。



▲賞状を手にする長崎氏(中央右)



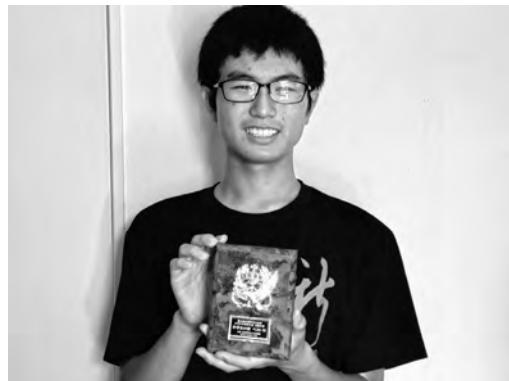
▲感謝の言葉を述べられました

囲碁大会で快進撃！

7月29日・30日、日本棋院東京総本部で「第46回文部科学大臣杯全国少年少女囲碁大会」が行われました。福岡県代表の樋口舜蓮さん(新宮中3年)は予選リーグを一位通過し、本選ではベスト16位で入賞を果たしました。

また、11月2日、長崎勤労福祉会館で「第2回九州・沖縄こども囲碁県別団体交流戦」が開催されました。樋口さんは、大将として福岡県選抜チームを率いて、大分、長崎、熊本、沖縄チームに対し全勝し、九州制覇を果たしました。

樋口さんは「中学生2人と小学生3人で和気あいあいとしたチームを作ることができた。全員で金メダルを首にかけてもらつたときは最高だった」と達成感を語りました。



▲今後の大会も攻めの一手で頑張ります

絆を深めるグラウンドゴルフ大会



▲快晴の下、一致団結して頑張りました

11月8日、粕屋中央スポーツ公園(粕屋町)で「第20回糟屋地区身体障がい者福祉協会グラウンドゴルフ大会」が行われ、1市4町(古賀市、新宮町、須恵町、篠栗町、粕屋町)の各地区身体障がい者福祉協会の会員のみなさんが参加しました。

当日は楽しみながらも、真剣に取り組み、ホールインワンも飛び出すなど、笑顔があふれ、会員同士の親睦が深まった一日となりました。